

国立のぞみの園セミナー 2022

「知的障害者の認知症診断基準・早期発見・支援」

知的障害者の認知症はどうやって診断されるの？

どうやって認知症に気づけばいいの？

認知症になって不安や無気力などの行動・心理症状が・・・どう支援すればいいの？



本セミナーではそんな疑問を紐解く上で参考になる情報を提供します。認知症になった知的障害者を支援している方、これから支援する可能性のある方、30歳以上の知的障害者を支援する方必見の内容です。是非、お申込みください。

| | |
|------|-------------------------------|
| 申込期間 | 令和5年2月13日(月)～令和5年3月3日(金)17時まで |
| 配信期間 | 令和5年3月1日(水)～令和5年3月17日(金) |
| 参加費 | お一人様 1,000円 |
| 払込期限 | 令和5年3月10日(金) |

お申し込み方法

国立のぞみの園ホームページよりお申し込みください

国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/> 養成・研修
> 研修のご案内 > 国立のぞみの園セミナー2022 > 知的障害者の認知症の診断基準・早期発見・ケア ※ 自動返信はありません。



参加費の払込について

- ・申し込みフォームの受付最終画面にて、受付番号と払込口座のご案内をいたします。スクリーンショットなどで画面保存することをお勧めします。
- ・ゆうちょ銀行に備え付けてある払込取扱票の通信欄に（①受付番号、②受講者名、③住所、④振込者名）を必ずご記入ください。
- ・払込手数料は受講者様の負担でお願いいたします。
- ・請求書、領収書の発行は行っておりません。払込時の受領証を大切に保管ください。
- ・払込み確認後、お申し込みされたメールアドレスにご視聴URLをお知らせします。

Contents

講演1 知的障害者の認知症の診断基準について



桑野良三氏 (旭川荘総合研究所特別研究部門 研究員)

講演2 認知症又は疑いのある知的障害者の早期発見と支援 —DSQIID・知的障害者用認知症ケアプログラムの活用とその効果—

村岡美幸 (国立のぞみの園研究部 研究係)

実践報告 知的障害者用認知症ケアプログラムによる実践の報告

福島愛美 (国立のぞみの園)

居城慎也氏 (障害福祉サービス事業所 あおの風)

本田尚久氏 (障害者支援施設 普賢学園)



早期発見
ツール

知的障害者用認知症判別尺度 (DSQIID)

支援
ツール

対象者の全体像を表すことができる国際生活機能分類 (ICF)
支援効果を可視化できるNPI

※NPI=認知症の方の行動・心理症状 (BPSD) の頻度と重症度および介護者の負担度を数量化
することができる神経心理検査

講演2と実践報告では、早期発見や支援のツールであるDSQIIDやICF、NPIの使い方や
使用して実践した際の効果と課題等についてご紹介します。



【お問い合わせ先】

国立のぞみの園事業企画部研修・養成課【担当】槻岡、長井

TEL: 027-320-1357 (土日祝日除く)

MAIL: nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp